

■ 追悼 ■

坂田 宏先生を偲んで

岩 田 敏

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院感染症部

坂田宏先生は、去る2018年9月8日、62歳の若さで逝去されました。

故坂田宏先生は、その小児科医としてのご経歴の中で、一貫して感染症と化学療法の分野でのお仕事を続けてこられました。先生のご診療により多くの子ども達の命が救われたことは勿論のこと、市中病院に籍を置いて日々の診療を行いながら、小児感染症、小児呼吸器の分野で重要な基礎的・臨床的研究を続けてこられ、多くの論文を書かれていらっしゃることは、まさに臨床と研究の両立を高いレベルで達成された素晴らしいご努力の成果で、私たち小児科医が目指すべき、理想的な医師の姿だと考えております。坂田先生が研究された多くの臨床研究の成果は、いずれもわが国の小児感染症関連のガイドライン作成に必要なエビデンスとして採用されており、国内外でのエビデンスがどうしても十分でない小児科領域において、坂田先生の果たされてきた役割は極めて大きかったといえます。特に日本小児感染症学会と日本小児呼吸器学会が合同で作成している「小児呼吸器感染症診療ガイドライン2017」の作成においては、2012年から亡くなるまでガイドライン作成委員会の委員をお務めになり、気管支炎及び細気管支炎の項の担当としてガイドライン作成にご尽力されました。同ガイドラインの中で国内のエビデンスとして引用された坂田先生の論文は計12編に上ります。また日本感染症学会と日本化学療法学会が合同で作成している「JAID/JSC 感染症 治療ガイド2014」の作成においてもガイドライン作成委員として小児肺炎の項を担当され、まさに次の改訂に向けての作業中でいらっしゃいました。

坂田先生は1980年3月に旭川医科大学医学部をご卒業され、すぐに同大学大学院医学研究科に進まれて、当時同大学小児科学講座の初代教授でいらっしゃった故吉岡一先生の指導を受けられました。1984年に大学院を修了されてからは、一貫して小児科医として臨床を続けながら感染症の研究を続けてこられ、旭川厚生病院小児科の主任部長としてまた旭川医科大学の客員教授として、多くの小児科医の育成に当たってこられました。坂田先生が小児科学講座に入られた当時、吉岡教授の講座では感染症、抗菌化学療法、腸内細菌叢をテーマとしたご研究を続けられていて、実は当時私が在籍していた慶應義塾大学医学部小児科学教室（故市橋保雄教授主宰）でも同様のテーマで研究をしていたことから、学会で、また当時盛んだった新規抗菌薬の小児領域開発治験の研究会で、坂田先生とご一緒する機会が沢山あったことを良く覚えております。

坂田先生は、感染症、化学療法、呼吸器関連の学会で活発な学会活動をされてこられました。その中で、2000年には日本化学療法学会上田泰記念感染症・化学療法研究奨励賞、2017年には日本感染症学会二木賞を受賞されました。また2012年には第45回日本小児呼吸器疾患学会を旭川で、2015年には第62回日本化学療法学会東日本支部総会を札幌で、それぞれ会長として主催され、本年2019年には、9月に第46回日本小児臨床薬理学会学術集会の大会長、10月に第51回日本小児感染症学会総会・学術集会の副会長をそれぞれ札幌と旭川でお務めになられる予定でいらっしゃいました。坂田先生のことですから、これらの学術集会でのご企画等、既にご準備され

ていらっしやったことでしょうし、今頃は雲の上できっと心残りに思われていらっしやることと思います。私共としては、予定されている学術集会を少しでも盛り上げて、坂田先生に追悼の気持ちをお伝えするとともに、学術集会の無事の成功をお届けできればと考えております。

日本小児感染症学会を共に支えてきた偉大な仲間厚く御礼するとともに、ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

坂田先生が生前に書かれて投稿されていた原稿が今年になって公表されています。おそらく先生が残された最後の論文だと思しますので下記の通りご紹介させていただきます。

- 1) Sakata H, Watanabe A, Iwata S, Sato Y, Suzuki K, Miyashita N, Hori S, Yamaguchi Y, Odajima M, Katakuse Y, Hasegawa T, Maki N, Wada K : Surveillance on susceptibility of strains isolated from pediatric infections. J Infect Chemother 25(3): 163-169, 2019
- 2) 坂田 宏 : Seminar〔VP (Vaccine Preventable Diseases) の現状・対策・展望〕② 侵襲性肺炎球菌感染症 (小児). 感染症 48(1): 29-32, 33-39, 2019

略 歴

【学歴・職歴】

- 1980年3月 旭川医科大学医学部卒業
- 1984年3月 旭川医科大学大学院医学研究科卒業
- 1984年4月 旭川医科大学医学部附属病院 医員
- 1984年6月 北海道立羽幌病院小児科 医員
- 1985年7月 旭川厚生病院小児科 医師
- 1986年7月 旭川医科大学附属病院小児科 助手
- 1989年7月 旭川厚生病院小児科 医長
- 1997年6月 旭川厚生病院小児科 主任部長
- 2014年8月 旭川医科大学小児科 客員教授



在りし日の坂田宏先生

【受賞歴】

- 2000年6月 日本化学療法学会上田泰記念感染症・化学療法研究奨励賞
- 2003年 旭川医師会賞
- 2017年4月 日本感染症学会 二木賞

【主催学術集会】

- 第45回 日本小児呼吸器疾患学会 (旭川グランドホテル 2012年9月)
- 第62回 日本化学療法学会東日本支部総会 (ロイトン札幌 2015年10月)

【日本小児感染症学会でのご経歴】

- ご入会：1988年4月1日
- 評議員：2000年～2004年, 2016年～2018年
- 研究教育委員：2012年～2016年
- 研究委員：2016年～2018年
- 小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会：2012年～2018年